

クルマの魅力再認識

県オールトヨタ「モビフエス」

レストア車など展示

県オールトヨタのクルマの祭典「モビフエス2023」が11日、奈良市三条大



レストア車やレストア車を見学する来場者
11日、奈良市三条大路の県コンベンションセンター天平広場

路工丁目の県コンベンションセンター天平広場で始まった。親子連れら多数の来場者が多彩な展示、イベントを楽しんだ。きょう12日まで。

マが移動手段だけでなく災害時に電源として使える有効性もテーマの一つとなった。

会場にはトヨタの新型車

若者のクルマ離れ、駆動方式や動力源の大転換期を迎えている中で、クルマの魅力を再認識してもらい、ファンを増やす目的で初めて開催。開催日が「3・11」の東日本大震災の発生日と重なったこともあり、クル

の数々をはじめ、整備担当者らの技術を高め、継承していくために展開しているレース参戦の車両、レストア(再生)車などを展示。来場者は新型車に乗車して乗り心地や装備を確かめたり、見る機会の少ないレース車を興味深そうに眺めて担当者から説明を受けたりしていた。

トヨタの電気自動車「bZ4X」を電源として家庭の電化製品を動かす給電コーナーでは、災害や停電などの非常時の有効性が紹介された。

小学生以下の児童を対象に、自分で組み立てたミニ四駆を走らせるイベントも実施。県警や日本自動車連盟(JAF)奈良支部の車両展示、子ども免許証の発行、飲食物を提供するキッチンカーの出店もあり、来場者の人気を集めた。

親子で来場した奈良市の男性(46)は、「たまたま通りかかり、クルマ好きなので寄ってみた。子どもが喜ぶイベントや展示もあって楽しめた」と笑顔を見せた。入場無料。午前10時から午後5時開場。